

## 平塚湘風高等学校 生徒心得

平塚湘風高等学校の生徒として、本校の教育目標に則り、学則をはじめとする諸規定を守り、常に本校生徒としての自覚を持ち、礼儀正しく、品格ある言葉遣いや行動を心がけ、有意義な高校生活を送るように努めること。

### (1) 学習

- ア 自己の目標や進路をしっかりと定め、その達成のために日々努力を重ねること。
- イ 学習には常に前向きに取り組み、自己の能力の向上を図ること。
- ウ 授業内容の理解等が十分でない場合は、基礎講習や質問等で早期に解決を図ること。
- エ 授業に不必要なものや妨げとなるものを持ち込まないこと。
- オ 授業の進行や他の生徒の妨げになる行為をしないこと。
- カ 学習成果の定着を図るために家庭学習を心がけること。

### (2) 通学

- ア 常に定められた制服を着用すること。
- イ 余裕を持って登校し、8時40分までに自分の席に着いていること。
- ウ 常に交通ルールを遵守し、自他の安全に心がけるとともに周囲の迷惑にならないように心がけること。
- エ 自転車を使用する場合は所定の届を提出し、使用する自転車には必ず指定されたステッカーを貼付し、指定された駐輪場を使用すること。
- オ 原付・自動二輪車・四輪車は使用しないこと。
- カ 保護者等以外の者が運転する自動車等に同乗しないこと。

### (3) 校内生活

- ア やむを得ず遅刻・欠席する場合は、必ず保護者等より学校へ連絡すること。
- イ やむを得ず外出・早退する場合は、必ず学級担任に申し出て許可を得ること。
- ウ やむを得ない事情で授業中に教室外に出る場合は、必ず教科担当者の許可を得ること。
- エ ロッカー・貴重品・私物などは各自の責任において管理すること。
- オ 盗難・破損・問題行動等があったり、発見した場合は直ちに関係職員に届けること。
- カ 校内は常に清潔に保ち、積極的に清掃活動を行うこと。
- キ 休日等に登校する場合は、事前に関係職員の許可を受けること。
- ク 学校内での次の行為は禁止する。
  - ① 暴力行為・いじめ・喫煙・飲酒等の反社会的行為・違法行為を行うこと。
  - ② 危険物や薬物等を持ち込んだり、販売すること。
  - ③ 学校の許可なく金銭の貸借・徴収・物品等の販売をすること。
  - ④ 学校の許可なく文書を配布・掲示したり、集会等を開くこと。
  - ⑤ 学校の許可なく火気等を使用すること。

- ⑥ 学校の許可なく校内の施設・備品を使用すること。
- ⑦ 学校の許可なく外部の人間を校内に入れること。
- ⑧ 服装等のきまりに反する服装をすること。
- ⑨ 頭髮の染色・脱色・パーマ・エクステ・ドレッド等の編み込み・剃りや化粧等をしたり、装飾品を身に付けること。
- ⑩ 授業中に携帯電話・スマートフォン等の電子機器や音響機器等授業に関係のない物品を使用すること。※授業でスマートフォン・タブレット端末を使用する場合は、その限りではない。
- ⑪ 学校生活に不必要なものを持ち込むこと。

#### (4) 校外生活

- ア 常に本校生徒としての自覚を持ち、社会の安心安全に寄与し、諸法令を遵守して、有意義な高校生活を送るように努めること。
- イ 高校生にふさわしくない飲食店・パチンコ店・遊技場等に出入りしないこと。
- ウ いかなる理由があっても、飲酒・喫煙・薬物乱用等を行わないこと。
- エ 反社会的な行為を行ったり、その行為を目的とする団体等に参加しないこと。
- オ 夜間の外出はできるだけ避け、夜11時以降は必ず保護者等同伴とすること。
- カ 旅行・登山・キャンプ等は必ず保護者等の許可を受け、所定の用紙で届け出ること。
- キ アルバイトは好ましくないが、やむを得ない場合は学業に支障がない範囲で行い、必ず保護者等の許可を受け、所定の用紙で届け出ること。
- ク 次の項目に該当する場合のアルバイトは禁止する。
  - ① 学業が不振の者
  - ② 理由なく欠席・遅刻・早退の多い者
  - ③ 風俗営業等で風紀上好ましくないもの
  - ④ 就業が課業時間や深夜にかかるもの
  - ⑤ 遠距離のもの
  - ⑥ 住み込みや宿泊を伴うもの
  - ⑦ 危険を伴うもの
  - ⑧ その他、高校生としての就業にふさわしくないもの
- ケ 原付・自動二輪車・四輪車等の運転免許の取得および車両の使用については次の事項を遵守し、取得した場合は所定の用紙で届け出ること。
  - ① 免許の取得に当たっては、保護者等と十分に話し合い保護者等の許可を得ること。
  - ② 免許取得のために欠席・遅刻・早退をしないこと。
  - ③ 制服を着用して乗車または同乗をしないこと。
  - ④ 運転免許を取得した者は、学校内外の交通安全講習等に積極的に参加すること。
  - ⑤ 原付・自動二輪車・四輪車等を使用する場合は、常に交通ルールを守り、自他の安全に十分に配慮するとともに、万一の加害事故に備えて必ず保険に加入すること。
- コ 校外活動・部活動等で他校等を訪れる場合もこの心得を遵守すること。

(5) 諸届

次の場合は、所定の用紙で必ず届け出ること。

- ア 外出・早退する場合
- イ アルバイトを行う場合
- ウ 旅行・登山・キャンプなどを行う場合
- エ 自転車での通学を希望する場合
- オ 運転免許を取得した場合
- カ 加害・被害を問わず交通事故にあった場合
- キ やむを得ない事情で異装しなければならない場合
- ク 校内の施設・備品を破損した場合
- ケ 所持品を紛失したり、盗難にあった場合
- コ 校内で物品を拾得した場合
- サ 住所その他身上に変更があった場合
- シ その他、必要のある場合

# 平塚湘風高等学校 服装等のきまり

平塚湘風高等学校の生徒として、次の項目をきちんと守って高校生活を送ること。

## (1) 服装

### ア 基本的なきまり

- ① 通学時および校内では、定められた制服を必ず着用すること。
- ② 制服は、必ず指定された販売店で購入し、改造などは行わないこと。
- ③ 通学時には、制服の上にコートなどを着用してもよいが、校内では着用しないこと。
- ④ セーター・カーディガン・ベストなどを着用する場合は、ブレザーの下に着用し、ブレザーからはみ出さない程度の長さとする。また、セーターなどを着用する場合にはネクタイ、リボンに見える状態であること。
- ⑤ コート・セーター類は、高校生らしく華美でないデザインのものとし、色は紺・白・黒・グレー・茶・ベージュのものとする。
- ⑥ パーカー、トレーナーは着用しないこと。 ※パーカーについては、登下校時に限り、ブレザーの上に着用することを認める。ただし、コート類と同様、昇降口で脱ぐこと。
- ⑦ 実技教科などで許可された場合を除き、やむを得ない理由で制服の着用ができない場合には、所定の「異装届」を提出して許可を得ること。

### イ 男子の制服

- ① 制服は次のものとし、常に4点を正しく着用すること。  
「シングルで3つボタンのブレザー、グレーベースのチェック柄のスラックス、白無地で襟付きのワイシャツ、指定のストライプ柄のネクタイ」
- ② スラックスを下げた状態で着用しないこと。
- ③ スラックスの裾を折り曲げたり、短くした状態で着用しないこと。

### ウ 女子の制服

- ① 制服は次のものとし、常に4点を正しく着用すること。  
「シングルで3つボタンのブレザー、紺ベースチェックの16本車ひだスカートまたはグレーベースのスラックス、白無地で襟付きのブラウスまたはワイシャツ、指定のストライプ柄のリボンまたはネクタイ」
- ② スカートの下にスウェット・ジャージ・ハーフパンツなどを着用しないこと。
- ③ スラックスの裾を折り曲げたり、短くした状態で着用しないこと。

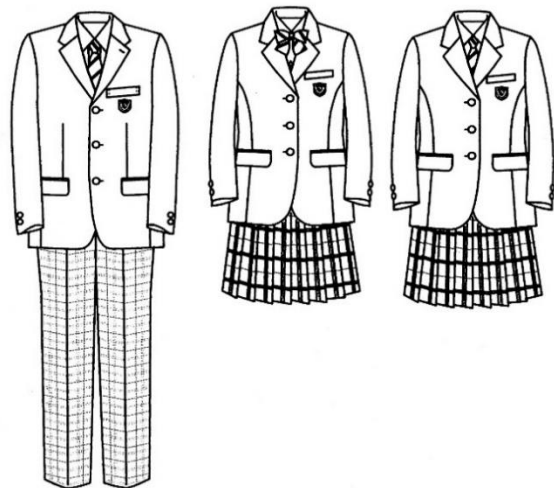
### エ 夏季の服装（6月～10月）

- ① 夏季の服装は、制服のブレザーを着用しない状態とする。この場合、ネクタイ・リボンは着用しなくともよい。
- ② 夏季の服装期間のワイシャツやブラウスは半袖のものを着用してもよい。
- ③ 夏季の服装期間は、ワイシャツやブラウスに変えて白無地のポロシャツや開襟シャツを着用してもよい。
- ④ 夏季の服装期間に気候等に応じて着衣を重ねるときは、制服のブレザーを着用すること。

< 標準 >

男 子

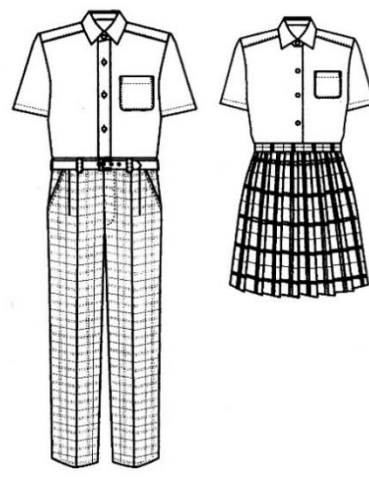
女 子



< 夏 服 >

男 子

女 子



オ 体育着

体育の実技授業および体育関係行事のときは、指定された体育着（ジャージ・Ｔシャツ・ハーフパンツ）を着用し、指定されたシューズ（体育館履き・グランドシューズ）に履き替えること。

(2) 服装以外の身だしなみ

ア 通学用の鞆や靴については特に指定しないが、高校生としてふさわしいものを使用すること。

ハイヒールやサンダル等を使用しないこと。

イ 校内では指定された上履きを使用すること。

ウ 頭髪は清潔を保ち、染色・脱色・パーマ・エクステ・ドレッド等の編み込み・剃りおよびそれに準ずる行為をしないこと。

エ 通学時および校内では、化粧をしないこと。

オ 通学時および校内では、装飾品を身に付けないこと。ルーズソックスも履かないこと。

※装飾品とは、ピアス・透明ピアス・ネックレス・ブレスレット等、マニキュア・ジェルネイル等である。

カ 制服、体操着、上履き等、校内で身に付けるものへの装飾や加工はしないこと。

キ その他、学校の指示に従うこと。